

第14回全国高校生地方鉄道交流会【企画部門】全校紹介！

テーマ：通年「地域創生と鉄道の役割」

第14回「歴史ある『鉄道のまち・美里町』の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！」

会場：美里町駅東地域交流センター 1F 多目的ホール

■美里町長賞 【成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部】

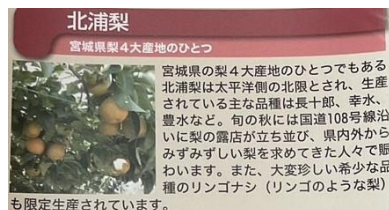
美里町活性化案

成城中学校・成城高等学校鉄道研究部



中央）相澤清一 美里町長

副賞：美里町特産『北浦梨』1箱
ヘッドマークデザイン権



学園都市小牛田：青生地区に小学校から大学までを誘致し、学生のいる家庭には住民税の減免措置を施し、若者世代の定着を図る活性化案は、交流会で初めて住民税にまで踏み込んだ提言だと思います。

固定資産税評価額にもメスを入れるともっと効果的かもしれませんね。

朝は、仙台方面行きの上りに比べて空いている仙台从小牛田方面の下り線に誘客する秀逸案です。

仙台市内の大学のサテライトキャンパスから開拓すれば可能性はありますね。

米どころである、田圃が多い、見通せる空がある、遮る建物ない、星月夜が見られる、と連想が膨らんだのでしょうか。

スバル天文台技師の出身地に気付いたのは、部員にもStarHunterがいたのでしょうか。

町営バスの路線の見直し改革案は素晴らしい慧眼です。

小牛田駅を中心に大胆に東西にゾーンを分け、線路を横断することで時間がかかっていた従来の運行経路を大幅に短縮することで時短になり、結果、バス便を増やし、待ち時間の軽減になります。

必要となるバスの充填は、中学校統廃合により、余った研修バスを充てる提言は、より使いやすい新バス路線案も創出していますので、すぐにでも実現化できます。

駅東駐車場への町役場新造移転案は、現町役場の築年数も考慮し、駅東地区に不足している商業施設を誘致することで 建築、保守費用を賄い、同時に利便性のアップ、子育て支援施設創出で居住性アップ。

鉄道施設展望デッキ・SL展示室・鉄道博物館を設けることで鉄道の街のシンボルマークとする、ワクワクする提言でした。

ベッドタウン美里町構想も必要なものはすべて備えられ、南郷地区のテコ入れが必須との美里町全域の活性化を考えた積み残しなしの提言は、皆さんが頑張って、美里町の現状を丁寧に調査したことを示す証左だと思います。

すぐにでも実現化できる活性化案を数多く提言してくれた素晴らしいプレゼンでした。



■ 成城中学校・成城高等学校／美里町活性化案

▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1btewXDogU45ZKkz6VqfrBrxh3Ni6IeAY/view>

▶ YouTube : 0:40:16～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■ 東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター所長賞

【清風南海学園 清風南海高等学校 鉄道研究部】



右) 東日本旅客鉄道株式会社 渡邉和利 小牛田統括センター 所長

副賞：特急イブニングウェイ
ヘッドマーク レプリカ



「無ければ、創れば良い」

既存の資源を組み合わせ、有効利用すれば、思わぬ相乗効果をもたらすことを、あらためて確認できたプレゼンでした。

福知山鉄道館フクレルを参考に、駅東駅前空地に、屋上展望デッキ付き・転車台上に載せられたSLを間近から観察できる鉄道資料館を創設。

NTT施設を改修して、地元商店、食堂などと誘致し、イベント会場、出張ブースなど多目的にリユースする。

廃校になった3つの中学校のうち、解体が決まっていおらず利用方法を公募している一校を「バラ園」とする。

SLの形に見えるように立体的にバラを飾り付け、映えスポットとする案を聞いたとき、十和田市現代美術館にあるチェ・ジョンファ氏作の「フラワー・ホース」という躍動する馬の全身が綺麗な花で覆われたモニュメントを思い出しました。

十和田市が、戦前、陸軍軍馬補給部があったことへのリスペクトが込められているそうです。

鉄道の街美里町の小牛田は、綺麗な花で覆われたSLの最適地ですね。

フラワー・ホースは、FRPでできていますので、「ローズSL」も作れそうですね。

おっしゃるように富良野のラベンダーのように「映えスポット」になるかもしれません。

学校施設は、あらゆるものが高規格・高水準で備わっています。

グラウンドも水捌けも良く平で、避難所や仮設住宅用地に最適です。

教室をバラ栽培所に転用し利活用すれば、一から作るのに比べ、大幅に初期費用が抑えられます。

ビニールハウスを一定温度に保つ熱量に比べ、中学校の教室や廊下をグリーンハウスとして利活用する方が、遥かに少ないエネルギー消費量で賄え、SDGs的にも優れています。

解体してしまうのは、とても「もったいない」のです。

これらのことに気づかせてくれる示唆に富むプレゼンテーションでした。

解体が決まっている中学校も利活用できそうだと方針転換することになるかもしれませんね。

台湾水里郷と観光都市提携できると相乗効果が期待できますね。

調査取材をもとに、シッカリ練られており、ロマンティックな想像力も感じさせるプレゼンテーションでした。



■清風南海学園 清風南海高等学校／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/18YmcG2-sgQTKlftzF0Bye55VMTyW0DJA/view>

▶YouTube：1:24:52～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■一般社団法人美里町物産観光協会 会長賞

【広島県立三次高等学校 芸備線を盛り上げる会】

歴史ある「鉄道のみち・美里町」の観光資源を発掘し誘客に繋げるためには！



広島県立三次高等学校



右) 一般社団法人美里町物産観光協会 平哲弥 副会長

副賞：とんたろう 詰め合わせ



写真はイメージです



オリジナルグッズの販売やYouTube配信なども行っている「高校生が芸備線を盛り上げる会」の会長を努めているだけあって、発表は具体的で継続性を大切にしました。

巨大プラレールプロジェクトは、美里町を再現した巨大プラレールワールドを 地域おこし協力隊を中心に住民全体が協力・団結し制作するものです。大人も巻き込む大きなウネリを感じます。実現化を目指して、「美里町プラレールプロジェクト」の企画書を持って、素材の提供を販売元に掛け合ってみるのも面白いと思いました。

小牛田駅前公園で5月～10月の日曜日に開催されている小牛田朝市に新庄、石巻、仙台、鳴子温泉、松島などから、列車で特産品を貨物輸送し、小牛田朝市をさらに活性化する提言は、実効性も高いものです。大きな朝市に発展するかもしれませんね。

図書館もあり、カフェもあり、学習もでき、地域の賑わいコミュニティである「小牛田ラウンジ」は、地元の方々はもとより列車に乗ってでも行きたくなります。

「乗って、振って、美里ポイント」は、只見線沿線など各地で行われていて観光客から高評価を受けている手を振る行為を効果物化とする評価手法です。善意の行為を可視化して正当に評価しようとする素晴らしい提言ですね。

プレゼンの最後に提言された、高校生が芸備線を盛り上げる会で高校生サミットと住民サミットを実現化をさせた実績に基づく、プラットフォーム創設案に感動いたしました。これまで交流会で発表した企画案を住民の皆さんに寄り添って、熱心に議論され出された提言も、旗振り役を担ってくださった方が転出すると意気消沈することもありました。街の活性化を続けていくために本当に必要なシステムが、継続的に、実現を目指して議論していくプラットフォーム創設だと思います。このことをしっかり主張してくださったことで、交流会のプレゼンテーションの質が一段階上がりました。



■ 広島県立三次高等学校／美里町活性化案

- ▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1uAV2s6KpC3X-Y94dfVHjoaSOz6wAJIfo/view>
- ▶ YouTube : 0:47:42～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■参加校プレゼン紹介__発表順

【東京農業大学第二高等学校・中部部 鉄道研究同好会】



観光列車として蒸気機関車を活用するアイデアは、何度も登場していますが、もしも故障してしまった時に備えて気動車型客車をペアにする案は、鉄道好きならではのですね。

続けて、静態保存機を巡るツアーの提案は、例えば、小牛田駅を中心に据えて、地図上に経路と時間と移動手段を明記し具体的に作り上げると、もっとアピールできたと思います。

小牛田駅から非電化路線の陸羽東線に乗り換えなしに乗り入れるために、烏山線で実用化されているEV-E723型のような架線から給電し蓄電池に蓄えて走るACCUM列車の利用を提案なさったのは将来実際に走るかもしれませんね。

大役を終えた「カシオペア」が小牛田に来てくれると美里町には素敵なプレゼントになりますね。もしも、実現したら、地元の方々も巻き込んで「臨時交流会カシオペア活用活性化案を考える！in 美里町」を開いて、みんなで議論しましょう。



■東京農業大学第二高等学校・中部部／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/1YtRb5Inx0fdM84NEbjQMfPnhV9pIsVyp/view>

▶YouTube : 0:31:30～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■参加校プレゼン紹介__発表順

【奈良育英中学校・高等学校 鉄道研究部】



小牛田駅の活性化の提案

奈良育英高等学校鉄道研究部



新幹線接続駅である古川駅、東北でも屈指の名湯鳴子温泉、松島へのアクセスが良好なことに着目した、特急列車運行案では 小牛田駅での停車時間を活用して、かつて活躍した列車の紹介、沿線地域の物産販売、名物鶏飯弁当復活販売を計画。YouTuberを招く賑わい創出策に加えて、機関区時代の建物をリノベーションした宿泊施設を創出すると同時に、小牛田駅を周辺地域の中心的物流センターとする活性化策を披露してくださいました。

発想はとても良いので、具体的にダイヤを組んで、時刻表を作ったり、小牛田駅周辺のどの場所に、どれくらいの雇用を想定し、どのような施設をどれほどの予算で創るのか、具体的に積算して、地図上に上げてみると観客は実感が湧きます。

みなさんも創造する苦しみはあるものの、美里町への興味がどんどん広がり、積算するために 類似物件を参照するうちに、どんな資料のどの部分を参考にする必要があるのかが見えてきます。キツイですが挑戦してみてください!!



■奈良育英中学校・高等学校／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/1FyISwlaIjyBAC7z08enw5G7vSQQCq61u/view>

▶YouTube : 0:58:42～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■ 参加校プレゼン紹介__発表順

【松実高等学園 鉄道コース】

"みらいへの"
"サイドトラックミッション"
"ともに"

～鉄道で美里町をもっと元気に！～

松実高等学園高等部・中等部
鉄道コース

令和7年8月10日



「未来のサイドトラックミッションともに」というタイトルでプレゼンを披露して下さいました。どの案も美里町を丁寧に観察して、地域の特産品や既存施設を活かした活性化案でした。ホスト校として交流会参加者に学校紹介、生徒さんが飼育している「わさび号」との触れ合い、園芸実習で作った花々を散らしたキーホルダーの制作などでお世話になった宮城県立小牛田農林高校が復活制作した「鶏飯弁当」をはじめ、栄周米、とんたろうのソーセージ、ナスなど地元名産品をふんだんに使用した新作弁当の販売。小牛田駅所属の「びゅう風っ子」が運行しない日に、Restaurant「びゅう風っ子」として小牛田駅構内留置線上で利活用する案は、初期費用も抑えられた良い提案だと思います。

SL復活運転は、動力は蒸気でなく、将来は、水素を用いて発電し走行を目指します。

観光列車四季島の運行ルートに小牛田駅を加えてもらう運動を展開したり、JR東日本が先頃発表した新造夜行列車の経由地にも名乗りを上げ、鉄道施設の夜間の様子の観光資源化を目指す活性化案は、流石に鉄道コースの皆さんならではの利活用事例だと思います。

とてもよく考えられており、鉄道のことに日頃から接することの多い生徒さんたちの活性化案だと思いますが、具体的に思い浮かべるには、材料が足りないと思います。

たとえば、とんたろうのソーセージを使えなくても、近所のお肉屋さんでソーセージを仕入れて「新作弁当」を試作してみて、写真をアップするとか、鉄道施設の夜の風景の写真やイラストをアップするとかの一手間でプレゼンの説得力は、かなり上がると思います。



■ 松実高等学園／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/1qFFR6X3-DWwJ8wRnaWYMEsDFVH3op3sI/view>

▶YouTube : 1:06:43～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■ 参加校プレゼン紹介__発表順

【古川学園高等学校 新聞部】



古川学園高等学校 新聞部

「鉄道」を使って町の活性化を！

in 美里町



「鉄道を使って街の活性化を」を新聞部らしく、丁寧な取材をもとにプレゼンテーションしてくださいました。まず、美里町の分析から、山の神社（安産）、保土塚古墳、松景院、バラの栽培・販売に着目し、貨車を含め、多くの列車と出会える鉄道の街なのに、その存在が町民の日常生活に溶け込み、生活の一分になっているにも拘らず、その良さが知られていないので、他所に比べて観光客数が少ない、その現状を「もったいない」というキーワードで表現して、活性化案を披露してくださいました。プレゼン全体像をキーワード「もったいない」に象徴的に示し、分かりやすく東北新幹線復刻塗装を参考に、こごた桜祭り、こごたどんと祭り、紫陽花祭、えきフェスタ美里、生き生き田園フェスティバルに合わせて、ラッピング列車を運行したり、石巻線で人気の「マンガタンライナー」を小牛田駅にも出張運行してもらおうなど、明日からでも、すぐ実現可能な活性化案を披露してくださいました。

かつて、交流会開催期間中、和歌山県内の加太線で走る観光列車「さち」を大阪府岬町を走る多奈川線に出張運行してくださいました。高評価を受け、その後も運行されている実績もあります。

「取材・記事・配布」を基本単位とする新聞部活動の一環として、陸羽東線の赤字問題の取材実績のある実力派の古川学園新聞部が交流会に参加して頂いた意義は大きいと考えます。

取材の方向性とは真逆になるかと思いますが、各フェスティバル向けのラッピング列車を自分たちなりの想像で十分なので、合成写真やイラストで雰囲気だけでもプレゼンの折に見せて頂ければ、観客のみなさんも、一緒にもっと楽しめ、盛り上がったと思うと思います。

古川学園新聞部の皆さんが、地元の方々の視点を通して、交流会活動取材してくださった新聞を早く読んでみたい気持ちでいっぱいです。



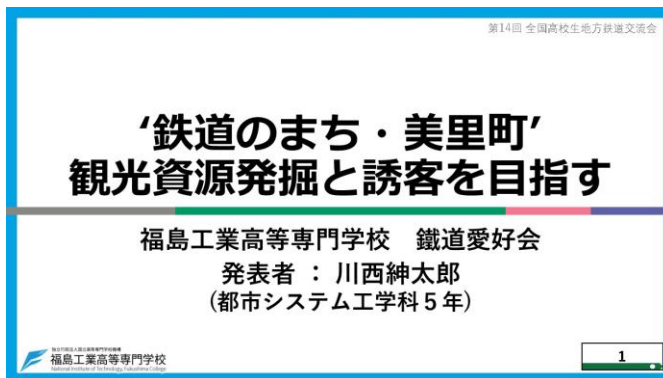
■ 古川学園高等学校／美里町活性化案

▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1UwHMzEDdIW54C8Q-nvE20uIpWmoOhs2l/view>

▶ YouTube : 1:15:50～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■ 参加校プレゼン紹介__発表順

【福島工業高等専門学校 鉄道愛好会】



全国高校生只見線サミットにも参加している実力派の余裕のあるプレゼンテーションでした。小牛田駅には数多くの留置線があることに着目した、留置線上に留置した列車を観光資源にしてカフェやレストラン、休憩所、果ては宿泊施設にして、夜間走行する貨物列車の走行通過も資源にするなど JR貨物の方々聞くと多分驚く発想です。

スタンプラリーや謎解きゲームを行いつつ、小牛田駅周辺から美里町を歩いたり、研修バスを利用して移動してもらい、美里町に親しんでもらう企画は、観光客ばかりでなく、地元の方々も楽しめそうです。

郷土資料館の活用は、これからも、交流会がどこで開催されても参考になりそうです。

留置線に留まった列車から見た「夜の車両基地は、多分こんな景色だろうイラスト」「取りあえず試しに作ってみた謎解きゲーム」「多分こんなふうになるだろうスタンプラリー」を実際に目の当たりしたかったと思います。試作品情報がなかったことが実に残念でなりません。ゲームやラリーの試作品は、みなさんなら、十分作ことは可能だったと思います。具体例を入れる事によって、さらにプレゼンに磨きがかかる事でしょう。



■ 福島工業高等専門学校／美里町活性化案

▶資料 https://drive.google.com/file/d/1UkA7iv5ovjI506U11bMsJs-qxJe2n_TA/view

▶YouTube : 1:35:00～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■ 参加校プレゼン紹介__発表順

【芝学園 芝中学校・芝高等学校 交通研究部】



鉄道ロマンを昭和ロマンとコラボレーションした「鉄道博物館」を創設。
カシオペア活用方法として、小牛田駅構内で留置し宿泊施設とし、夜の車両基地を眺められるようにする案には、交通研究部のロマンを感じます。
伝統ある小牛田朝市にならい、夜にも「小牛田夜市」開催。「小牛田夜市 with 芝学園」良いですね。宿泊人口が増えます。大崎耕土を観光資源にしてしまう大胆な策には正直驚きました。しかも田圃を利用して、田圃アートならぬ、色彩鮮やかな「ローズ・アート」。
熱気球を飛ばして、上空から鑑賞してもらう活性化案。
バラ栽培業者さん、小牛田農林、美里町の方々と協働することができれば実現しそうです。

佐賀県で行われているバルーンフェスティバルの写真とバラ園の写真、
田圃アートの稲穂をローズに置き換えて、熱気球から見ると多分こんなに綺麗な景色、
「大崎耕土ローズフェスタfrom the sky in美里町」。
「鉄道博物館」の目玉をどの列車にしようか、どんなコーナーを作ろうかなど、仲間で議論して、
陳列位置も自分たちで決めてしまい、「昭和ロマン鉄道博物館 by 芝学園」のイラスト予想図を
披露してくださったなら、一同驚愕し拍手喝采したこと間違いありません。

今、まだ、ないものを提案する場合は、目に見える成果物予想図を自由に創り上げて、披露できる形になるまで楽しんだうえで、それらをイラストや合成写真で披露してくださったなら、
もっと効果的なプレゼンテーションになったと思います。



■ 芝学園 芝中学校・芝高等学校／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/1NU2Mx1i0AtwScIvvOxTu3f1JRY6vVNBh/view>

▶YouTube : 1:45:05～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

■参加校プレゼン紹介__発表順

【東北学院中学校・高等学校 鉄道研究部】

歴史ある・鉄道のまち・美里町・の観光資源
を発掘し誘客に繋げるためには！

東北学院中学校・高等学校
鉄道研究部



「人との関わり」をキーワードに活性化案を考えてくださいました。楽しむ鉄道満喫ツアーの提案では、小牛田駅構内にある「転車台」を利用してレールバイクの方向転換を行うもので、栗原田園鉄道公園の方々に助言を仰いだうえで発表してくださいました。小牛田町第2代町長栗原和夫氏の「小牛田を鉄道テーマパークに」という思いへのリスペクトを感じます。

小牛田構内に留置した「風っこ」やSATONOを宿泊施設し夜間の小牛田駅を観光資源にしてしまう案は、鉄道満喫ツアーの名に恥じない企画です。小海線全線開通80周年記念事業に習い、HB-E210を利用した小牛田ー鳴子温泉ツアーの提案は、錦繡の秋はもちろんです、実現すれば季節を問わず満員御礼になる企画だと思います。鳴子郷の絶壁のトンネルから列車の写真は世界的に知られているのですから、陸羽東線ツアーが開催されれば世界中から人が来るでしょう。太宰治、宮澤賢治の足跡を丹念に辿り、小牛田駅が二人にとって大切な場所であったことを発掘して発表してくださいましたことは、文学と鉄道、作家と鉄道という切り口で、また新しい線路が増えたように思います。太宰治の「15年間」「たずねびと」は、青空文庫で無料で読めます。小牛田の文字が何度も登場しています。

旅をしながら、ロゲイニング (regaining)、つまり地図やコンパスを使って定められたエリア内に設置されたチェックポイントを制限時間内に廻るスポーツを公共交通機関を用いてやってみようという提案は、美里町はもちろん、様々な場所で開催できる提案です。新しい試みだけに、美里町を舞台に、「ロゲイニング in 宮城県美里町」を具体的に、試作して披露してほしいと思います。新しいゲームを試作するなんて素敵じゃないですか。50年後 100年後、競技人口300万人を超えているロゲイニングは、東北学院の生徒さんが宮城県美里町を舞台に創ってくれたので、こんなに広まったんですよなんて、楽しそうですよ。プレゼンは具体的であればあるほど強く伝わると思います。



■東北学院中学校・高等学校／美里町活性化案

▶資料 <https://drive.google.com/file/d/1ERA1lzZfmC9GBPD3PR3GSjP3tGg-fJmj/view>

▶YouTube : 1:54:43～発表 <https://youtube.com/live/8ohmoDFHwcY>

【第14回 全国高校生地方鉄道交流会 総評】

東北本線、石巻線、陸羽東線が交わる交通の要衝、小牛田駅がある宮城県美里町で 第14回交流会を8月8日から10日の3日間にわたり開催することができました。

相澤清一美里町長は、昨年の第13回交流会in三重県上野市の最終日にビデオメッセージを届けてくださいました。

その中で小牛田駅は、今から135年前、1890年に宮城県で仙台駅に次いで2番目に開業した駅。その駅がある美里町は、小牛田町と南郷町が合併してちょうど20周年の節目に当たる年に交流会を開催することに大きな喜びと 若い世代の街の活性化を図るプレゼンテーションに 期待と希望を持っていると宣言してください、まちづくり推進課をはじめ、地域おこし協力隊の方々にも様々なご協力をいただくなど、美里町の皆様には、一方ならぬご支援を賜りましたことを深く感謝いたします。



8月8日 開会式 於：美里町立美里中学校 みさとホール

東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター所長 渡邊和利さんには、参加生徒の皆さんに寄り添った様々なご配慮を戴きました。「特急列車イブニング・ウェイは、地域からの挑戦状なのだ。この挑戦が上手く行けば、金曜日の夕方のみならず、どんどん便数が増えていくはずだ。鉄道を大きな財産、すなわち地方創生のツールとして活用する」との力強い言葉を戴きました。

また、第14回は、多くの方々から講演していただきました。

元近鉄広報マン福原稔浩さんは、～阪神に憧れた少年が、近鉄の名物広報マンになるまで。

そして新たな挑戦～「運命の分岐点を越えて—— 鉄道と共に歩んだ 50 年」。

鉄道写真家・フォトエドューケーターの武川健太さんは、「福幸（ふっこう）もたらす鉄道と人の力」

写真家として 鉄道と関わり、なにができるのか？～好きを生かすアイデアと、伝わる写真の撮り方～」。

美里町産業振興課 主幹小南友里さんは「鉄道と地元産業との関わり～今までとこれから～」。

JR東日本小野田恵一さんは、「元、高校鉄道研究部 部長の JR 社員が語る「わたしの地図の読み解き方」」。

鉄道系YouTuber鐵坊主さんは、「鉄道まちづくりの方向性～各校の発表を受けての今後の展開」の講演を戴きました。

宮城県小牛田農林高校の皆さんは、栽培されている可愛い花々と

美里町のキャラクター「みさとまちこちゃん」「交流会ロゴマーク」のコラボレーション企画のレジンアート・キーホルダーの制作を指導してくださいました。

ありがとうございました。

「わさび号」はじめ、生徒さんが飼育されている牛を間近で見られたことは稀有な体験でした。



8月9日 ホスト校 交流会 於：宮城県小牛田農林高等学校

軌陸車テックさんによる軌陸車の稼働デモンストレーションと解説は、大いに盛り上がりました。
鉄道の安全と保守を担う技術と日々のアップデートのために努力なさっている姿に触れることができました。

プレゼンテーションをしてくださった学校は、10校でした。
どのチームも入念な調査に基づいた活性化案を披露してくださいました。
第14回テーマ「歴史ある鉄道の街美里町の観光資源を発掘し誘客につなげるには」について、
随分考えてくださったのだと思います。
事務局への提出期限7月末までに、どの学校も活性化を提出してくださっていましたが、変更案を再提出してくださった学校は、なんと10校のうち10校、100%でした。
初日、2日目に講演を聴き、美里町の風土に接して、地域の方々と触れ合うことで、
さらに磨きをかけた結果だと思います。



8月9日 軌陸車 デモンストレーション 於：宮城県小牛田農林高等学校 駐車場

留置線も含めた広い小牛田駅構内そのものの観光資源化の提言は複数のプレゼンで披露されていました。既存の鉄道関連資源を、大胆に 従来の目的以外にも活用しようとして提案してくださいました。美里中学校が新設されるまで、その任を担ってくれた3つの中学校の資産の利活用案も多くのチームが考えてくださいました。バラ園創設、ROSE-SL、田圃アートならぬローズ・アートの提言等は、実現すると本当に素敵ですね。

学園都市構想は、人流解析に基づいており理にかなっています。住民税軽減にまで言及なさったことは、おそらく初めてだと思います。小牛田駅の東側と西側で大胆にゾーン分けし、バス路線を再編成するという提言は、3つの中学校で使われ、生徒送迎の役目を果たした研修バスを 美里町住民バスに活用するという着眼点が優れていました。

太宰治、宮澤賢治の作品の足跡を丹念に辿り、小牛田駅が二人にとって大切な場所であったことを発掘して発表してくださいましたプレゼンは、文学と鉄道、作家と鉄道という新しい切り口を 交流会参加者に教えて下さいました。これからどんな作品が皆さんのプレゼンで登場してくるか楽しみです。

活性化案を実現可能にするために、クラウドファンディングやふるさと納税を挙げるプレゼンが増えてきました。資金面の手当てにも考えが至ってきたことは素晴らしいと思います。予算書を作り、収支予想を立て、資金回収策まで策定された企画をプレゼンできれば、実行性が飛躍的に高まります。そのために必要となる資料を集めるには どうすれば良いのか、皆さん、知恵を絞ってください。



8月10日 集合写真 於：美里町駅東地域交流センター

はじめに申し上げましたように 交流会開催にあたって、美里町の方々をはじめ 多くの方々からご支援をいただきました。今回も、6名の交流会OBが撮影・音声・配信などの業務を担ってくださいました。感謝いたします。高校生の皆さんも卒業後は是非、交流会スタッフとして力を貸してください。



マナスル登山隊の隊長を務めた今西錦司は、隊員たちが「先生、現地の地図が一枚もありません！」と言ったときに、「せやから、行くんやないか！」と応えたそうです。

地図がなければ、資料を集めて、地図を創るところからはじめて、つぎの高みを目指しましょう。

一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会代表理事 大溝貫之